福岡市立 赤坂幼稚園・福岡市立 赤坂小学校

園児と児童の交流活動「なかよしタイム」・「ミニなかよしタイム」の取組

「ミニなかよしタイム」で一緒に体操する園児と児童

園児と児童の交流を計画的に行うことを通して、子ども同士の尊敬の気持ちや思いやりの気持ちを育て、豊かな人間性を養うことをねらいとした取組を続けている。毎週火曜日に15分間一緒に遊ぶ「なかよしタイム」を設定するとともに、幼稚園年長児と1年生児童間、年中児と2年生児童間で行う交流活動「ミニなかよしタイム」を生活科の時間等を使って実施しながら、校種間連携による一貫した教育を推進した。

幼小の教師が年間カリキュラムの検討、合同研修会等を行い、共通理解を図り実践に活かしている。また、園児は、小学校進学に対する不安が解消され、進学への期待が高まり、児童は、自分より年下の子への温かな関わり方が身に付き、思いやりの気持ちが育まれた。

春日市立 春日南中学校

キャリア教育「3つのプロジェクト」を柱とした教育活動

「なんちゅうカレッジ」で地域の消防署の方から
救急救命の方法について指導を受ける生徒

キャリア教育を中核に据え、「学力向上プロジェクト」「さわやかコミュニティプロジェクト」「なんちゅうカレッジプロジェクト」の3つのプロジェクトを柱とした教育活動を展開している。具体的には、教師の指導力の向上を通した授業改善や、生徒の地域奉仕活動、地域人材が講師を務める講座の開設などを行っている。また、学校、家庭、地域の代表者からなる「なんちゅうバックアップ隊」を組織して、学校と地域との協働活動の調整を行うなど、学校を支援する体制が整備されている。

この取組を通して、学校、家庭、地域相互の信頼関係が構築された。また、生徒は、地域の人々とふれあう機会が増え、社会性やコミュニケーション能力が向上するとともに自尊感情が高まった。

宮若市立 宮田西中学校

「幼・小・中合同運動会」・「小・中音楽交流」の取組

合同運動会でのダンス指導

校区内に1幼稚園1小学校がある宮田西中学校は、小規模校のため、生徒間の人間関係が固定化し、積極性や目的意識に欠けるという課題があった。そこで、校種間の連携による合同行事（合同運動会・音楽交流会）を教育課程に積極的に取り入れ、家庭や地域の協力を得ながら、「11年間」を見通した各校種間の連携による一貫した教育に取り組んでいる。

継続した校種間の連携を図ることにより、「小1プロブレム」や「中1ギャップ」問題の解消につながった。また、生徒は、年少者からの憧れや信頼を感じとりながら、年少者への思いやりや慈しみを抱くことにより自尊感情が高まるとともに、達成感を味わうことを通して、積極性や目的意識の欠如という課題の解決が図られた。

朝倉市立 秋月中学校

地域資源を活用した教育活動「秋中ブランド化構想」

ブランド講座『秋月の名産を使った食文化や伝統産の技を磨く』
〈麺工房地域の名人職人さんの指導協力〉

秋月の地域資源（自然、産業、歴史、伝統文化等）を活用し、高い志・確かな学力・郷土愛を培う教育活動「秋中ブランド化構想」を展開している。具体的には、秋月文化を継承した文化体験活動や、秋月黒田藩藩校稽古館の精神を受け継いだキャリア教育の実践などを、家庭や地域の支援を受けながら行うことにより、学校を支援する体制が整備されている。

この取組を通して、学校、家庭、地域相互の信頼関係が深まり、学校の課題解決に向けた強力なサポート体制が構築された。また、生徒たちの地域に対する誇りや規範意識が向上し、郷土秋月に愛着を感じるようになった生徒が80％を超え、校区民や観光客への挨拶のみならず、ボランティア活動にも積極的に取り組むようになった。

大川市立 大川中学校

大川中学校区「幼・保・小・中連携事業」

園児の手を引き、誘導場所へ向かう中学生

中学校長が校区内の幼稚園・保育所・小学校の保護者を対象に、学力と生活習慣の相関関係をもとに、中学生までに育ててもらいたい「規範」など、発達段階に応じた支援（子育て）の在り方等について講演している。また、幼児ふれあい体験活動、弁論大会優秀者の小学校への派遣、中学生が避難誘導の中心となった幼稚園・保育所・中学校合同防災避難訓練の実施など、校種間の一貫した教育を推進している。

この取組を通して、校種間での指導目標の共有、共通実践につながるとともに、幼稚園・保育所・小学校の保護者の学校に対する理解が深まった。また、生徒は、年少者への思いやり、避難誘導における規範の大切さ、生命の尊さを学び、自尊感情や規範意識が高まった。

福岡県立 ありあけ新世高等学校

地域貢献活動「大牟田市動物園支援事業」

自ら企画・準備したクイズを出題する高校生

地域貢献活動を大きな教育目標の一つに据え、主体性・積極性・課題解決能力等を生徒が身に付け、地域から愛され、信頼され、誇りとされる学校を目指している。この取組では、動物園の活性化や振興のために、生徒がイベントの企画・立案に携わり、生徒の主体性・積極性を伸ばすとともに、スタッフとして運営に携わり、挨拶や礼儀等社会性の育成を図る実体験を重視した教育を推進している。

この取組を通して、生徒自身の積極性や社会性の伸張がみられ、イベント終了後の生徒感想文では、「今後もボランティア活動を行い、人の役に立てる人間になりたい。」等の内容が多く見られた。さらに、学校生活においても、学習やその他の活動等に対してより一層積極的に取り組むようになった。

学校法人嶋田学園 愛宕幼稚園

運動好きな子どもを育てる取組

体操教室で鉄棒に取り組む園児

年少児から年長児まで連続した運動カリキュラムを組み、運動好きな子どもを育てる教育活動を展開している。園児が自発的に運動したくなる環境を整備し、いろいろなスポーツに取り組ませたり、園外の施設を積極的に活用したりして、幅広く運動に親しませるように工夫している。また、子どもの遊びの延長線上に運動習慣づくりの活動を位置付けて、子どものやる気・自発性を引き出している。さらに、家庭に対する規則正しい生活習慣の啓発等、家庭環境にも働きかけ、家庭の教育力を」高めている。

この取組を通して、園と保護者の共通理解が図られ、運動好きな子どもを育てるという意識が高まり、その結果、基礎体力の向上が図られ、子どもが自発的に運動に取り組むことができるようになった。

田川市立 大浦小学校

大浦小協働教育の取組と大浦交通安全少年隊の取組

交通安全教室の様子

学ぶ意欲や規範意識を育むためにきれいな学校と学習環境をつくる取組や、交通安全少年隊の活動を中心とした安全教育を家庭や地域の協力を得ながら行っている。交通安全少年隊の活動では、全校児童が隊員となり、6年生は全校の安全を守り指導する立場として自覚をもって取り組んでいる。36年間継続して取り組んでおり、伝統ある活動として子どもたちだけでなく保護者や地域の誇りとなっている。また、学校応援団も組織されるなど学校を支援する体制が整備されている。

これらの取組を通して、学校、家庭、地域相互の信頼関係が深まり、学校が教育活動に専念できる環境の整備が図られた。また、家庭や地域との協働により、児童の規範意識、自尊感情が高まった。